

1995年11月26日(日)、鳥取大学乾燥地研究センターにおいて「第5回根研究集会」が開催された。陸の孤島である鳥取県で、しかも晴天の日曜日という悪条件(?)にも拘らず、参加者はのべ50人にも達した。午前には根と乾燥地に関する特別講演2題、午後には一般講演7題が行われ、閉会後には懇親会が開かれた。

以下に特別講演の概要を述べる。特別講演の1題目はM.Luxova氏のご子息で、SlovakiaのComenius大学の助教授である、A. Lux氏の「Radicle and root structure of the desert succulent *Echinocactus platyacanthus* (Cactaceae)」で、砂漠植物の維管束の形態と土壤乾燥下における根の貯水機能および乾燥からの維管束保護機能との関係についてであった。特別講演の2題目は当センターの客員教授である、A.G.T. Babiker氏の「The root parasitic weed *Striga hermonthica*: An important biological constraint of food production in Sub-Saharan Africa」で、乾燥地農業の深刻な問題の1つである寄生雑草の化学的防除法の可能性についてであった。

一般講演は下記の通りであり、発表された講演全てについて活発な質疑応答が行われた。一般講演は現在進行中の研究結果について発表されたものが多く、このことが活発な議論をもたらした一因となったと考えられる。とくに、初めて根の研究集会に参加した、またはこれから根の研究を初めようとする若手の研究者の発言が多く、分野を越えて活発な意見交換を行うことができたことは非常に有意義であった。

一般講演

1. タブノキ1年生実生の萌芽形成過程における根の伸長成長の変化
城田徹央・玉泉幸一郎・斎藤 明（九州大）
2. 根系を構成する異なる種類の根の補償的生長
－ストレス反応性と根の形態との関係－
阿部 淳・森田茂紀（東京大）
3. アルミニウム(Al)によるコムギ根の伸長阻害機構の解析
佐々木昌生・松本英明（岡山大）
4. 根の細胞壁の力学的性質とジベレリン誘導成長
谷本英一¹⁾・山本良一²⁾（¹⁾名古屋市大・²⁾帝塚山短大）
5. 堆肥中の根伸長促進物質の精製
竹中 眞（農環研）
6. イネ科植物の根における鉄獲得物質ムギネ酸類の生合成経路
馬 建鋒¹⁾・野本享資²⁾（¹⁾岡山大・²⁾サントリー生有研）
7. 土壤の乾燥が土壤呼吸に及ぼす影響
大橋瑞江・玉泉幸一郎・斎藤 明（九州大）